

極早生ウンシュウのマルドリ方式における水分チェックグッズを活用した高品質果実生産技術

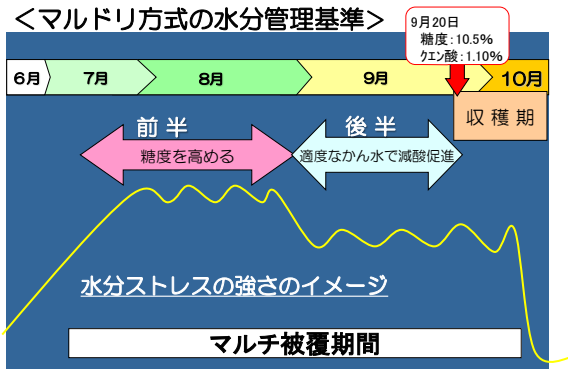
利用対象：ミカン栽培農家

ウンシュウミカンの産地には高品質果実生産技術としてマルドリ方式栽培(マルチ栽培を含む)が普及しています。しかし、単にマルチシートを被覆するだけで高品質果実が生産されるわけではありません。安定的に高品質な果実を生産するためには、樹の水分状態を把握しながら適切な水分管理を行う必要があります。水分チェックグッズを活用すれば樹の水分状態が把握でき、適切な水分管理につながります。

マルドリ方式と水分管理基準



マルドリ方式の実施状況



マルドリ方式はシートで雨水を排除するとともに、シート下にかん水チューブを配備して水分コントロールを実施します。基準の様に前半はやや乾燥気味に管理して糖度を高めます。

水分チェックグッズを使った水分管理のフロー

最初は簡易土壌水分計で土壌の乾きをチェックします。連日水位が下がり土壌の乾燥が進んできたら、樹体の水分不足度を水分チェックボールでチェックします。かん水を開始したら時々、水分ストレス表示シートを使ってかん水量が適当かどうかをチェックします。また、水分チェックグッズの利用を通じて、水分管理に関する判断力を養うことができます。

STEP 1

園地の乾きを大まかにチェック

簡易土壌水分計 (農研機構開発)

- 全長120cm
- 20cmの深さへ埋め込み、水を入れる。
- pF2.8で水位が下がり出す。

STEP 2

樹の水分不足度を直接チェック

水分チェックボール (三重県開発)

- 日没時にチェックする。
- 基準の色(青色)と果実を握り比べる。
- 明らかに柔らかければかん水必要と判断。

STEP 3

樹の水分不足度を直接チェック

かん水の充足度をチェック

水分ストレス表示シート (農研機構開発)

- 葉裏に貼り付ける。
- 赤くなるまでの反応時間でチェック。

かん水量は、1日 1~2 t / 10a程度

※後半は水分チェックボールが使えません。その時は水分ストレス表示シートでチェックしましょう

お問い合わせ先	紀南果樹研究室 須崎徳高、湊 英也 中央普及センター 西川 豊	電話 05979-2-0008 電話 0598-42-6323
参考になる資料	三重農研HP : http://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm	